

令和元年度逢瀬川河川改修事業説明会

日時：令和2年2月22日(土)午後6時～8時

場所：逢瀬川町内会集会所

次 第

- 1 開会及び期成会会長挨拶
- 2 台風第19号に伴う降雨による出水概要について (15分)
- 3 逢瀬川河川改修及び関連事業について (15分)
- 4 赤木貯留管等の進捗状況等について (15分)
- 5 伊賀河原土地区画整理事業について (15分)
- 6 逢瀬川堤防建設・内水対策期成会からの要望について (15分)
- 7 台風第19号による各種支援制度について (3分)
- 8 質疑応答 (42分)
- 9 閉会

県及び市出席者名簿

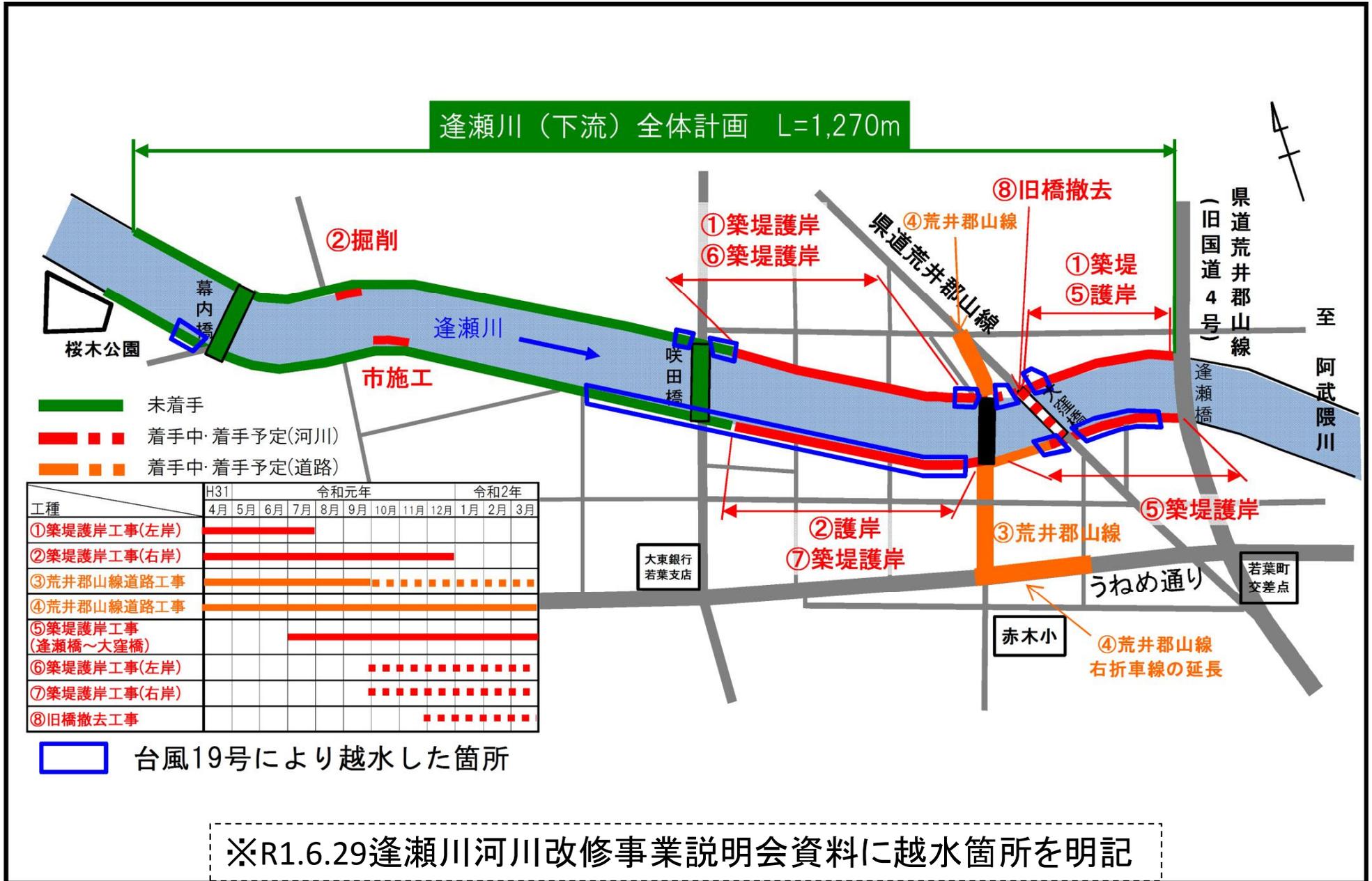
福島県県中建設事務所事業部河川砂防課	課長	星文高
	主任主査	鈴木伸和
	技師	今泉良明
道路課	課長	安齋正人
	主任主査	加藤高洋
	技師	影山嘉一
総務部用地課	主任主査	須賀美保子
	主査	宗形明日香
企画管理部管理課	課長	山森善太郎
	技師	叶裕輔
河川CM		岡島大介
		渡辺拓
郡山市上下水道局経営管理課	課長	吉村隆
	課長補佐	猪狩明宏
	主任技査兼係長	長尾一彦
	技査	柳沼彰広
下水道整備課	主任技査	相樂寿和
	係長	遠藤正史
下水道保全課	課長	宗形彰久
	係長	齋藤正樹
	主任	中村剛
お客様サービス課	課長補佐	遠藤里美
	主任	渡辺直寛
都市整備部区画整理課	主任	仙波弘光
	技査	関根洋貴

令和元年度逢瀬川河川改修事業説明会 資料

令和2年2月22日

福島県県中建設事務所

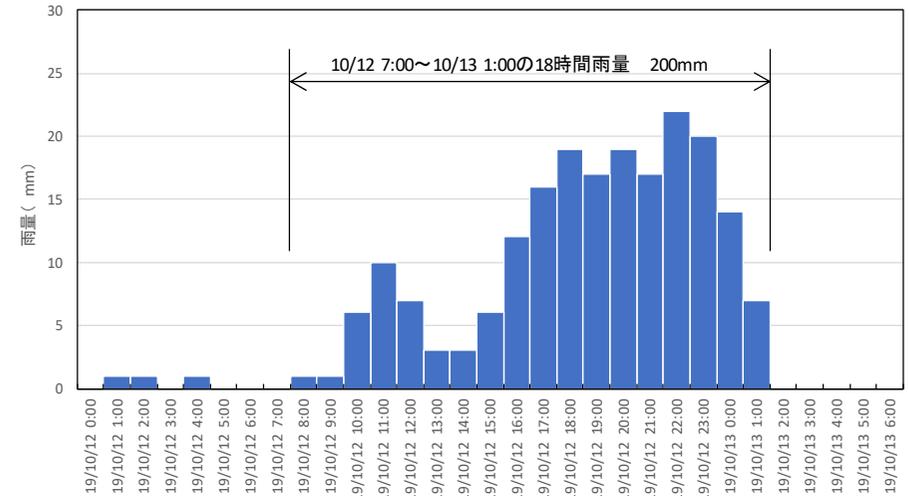
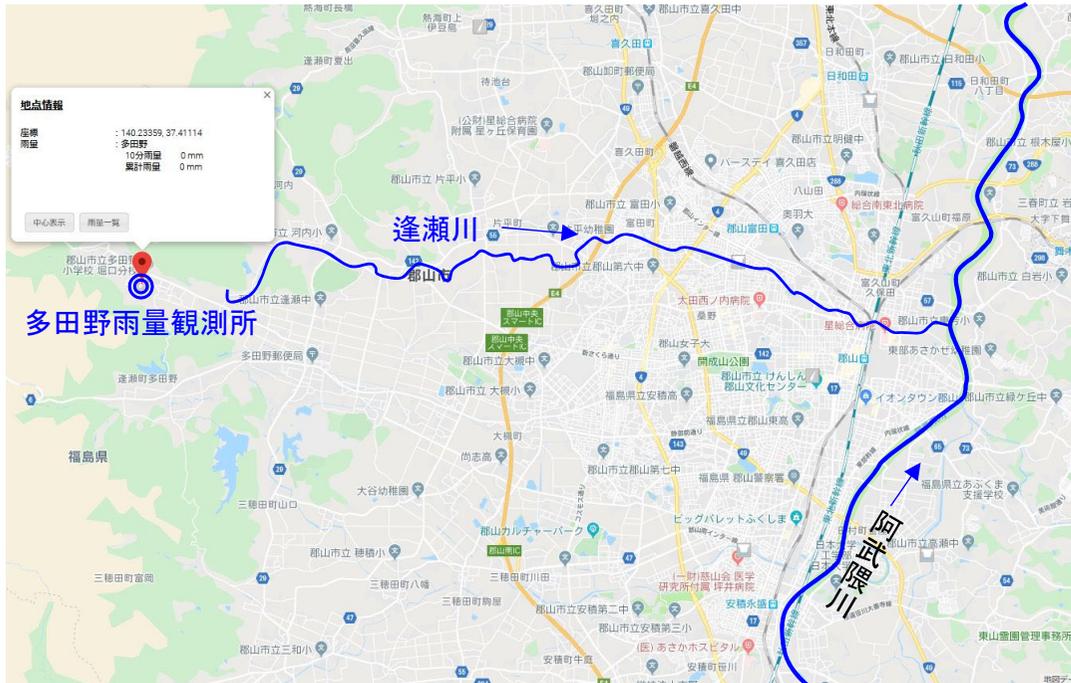
1. 台風19号出水における逢瀬川の越水状況について



2.台風19号出水における逢瀬川の流域の状況について

(1)降雨量

- 逢瀬川上流域に設置されている多田野雨量観測所の雨量は、雨の降り始めた10/12 7時～10/13 1時の18時間で200mmを記録した。1時間の最大雨量は10/12 22時に22mmを記録した。
- 近年の出水時における総雨量は昭和61年8月の238mm、平成10年8月末の277mm、245mmより少ないものであった。



多田野地点降雨波形

多田野雨量観測所の近年出水時の総雨量

洪水名	総雨量	降雨継続時間
S61.8.5	238mm	26時間
H10.8.27	277mm	59時間
H10.8.30	245mm	36時間
H23.9.23	237mm	45時間

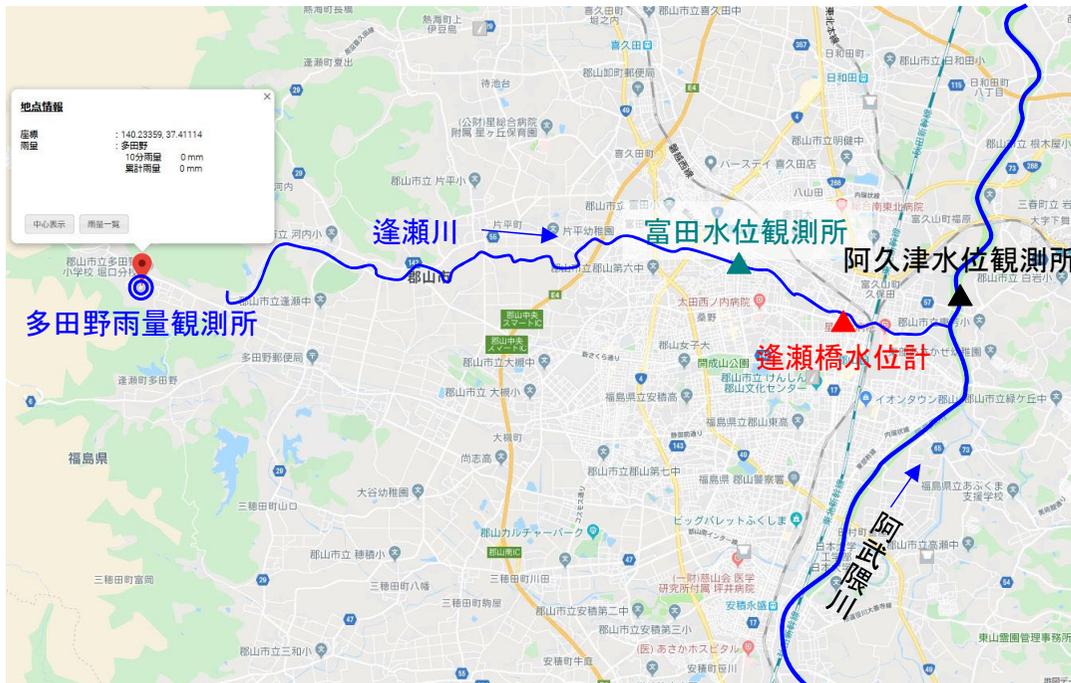
【参照】 福島県河川流域総合情報システム

多田野雨量観測所及び富田・逢瀬橋水位観測所位置図

2.台風19号出水における逢瀬川の流域の状況について

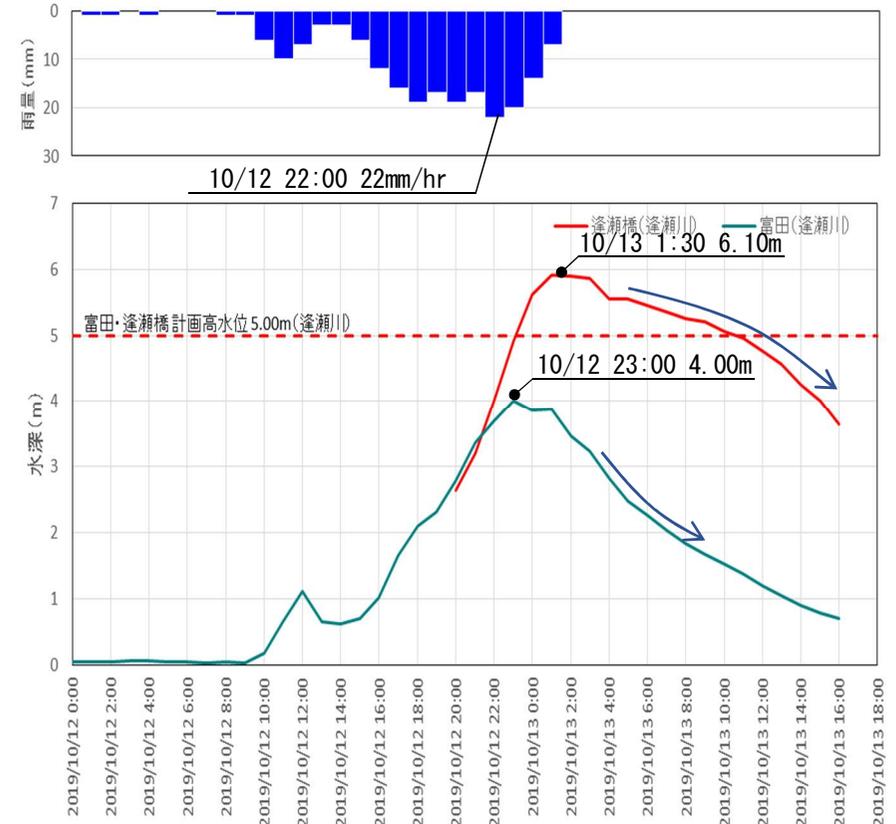
(2) 逢瀬川の水位

- 逢瀬川富田水位観測所のピーク水位は10/12 23時に4.00mを記録している。これは計画高水位5.00mより1m下回っているものであった。また、多田野雨量観測所のピーク雨量を記録した10/12 22時とほぼ同時期であることがわかる。
- 富田水位観測所の下流に位置する逢瀬橋水位計の最高水位は10/13 1時30分に6.10mを記録し、計画高水位5.00mを1.1m上回っていた。また、最高水位からの低下の仕方が富田水位観測所より緩やかであることから、逢瀬川上流からの洪水の流れと異なっていることがわかる。



【参照】 福島県河川流域総合情報システム

多田野雨量観測所及び富田・逢瀬橋水位観測所位置図



逢瀬川の降雨・水位関係

2.台風19号出水における逢瀬川の流域の状況について

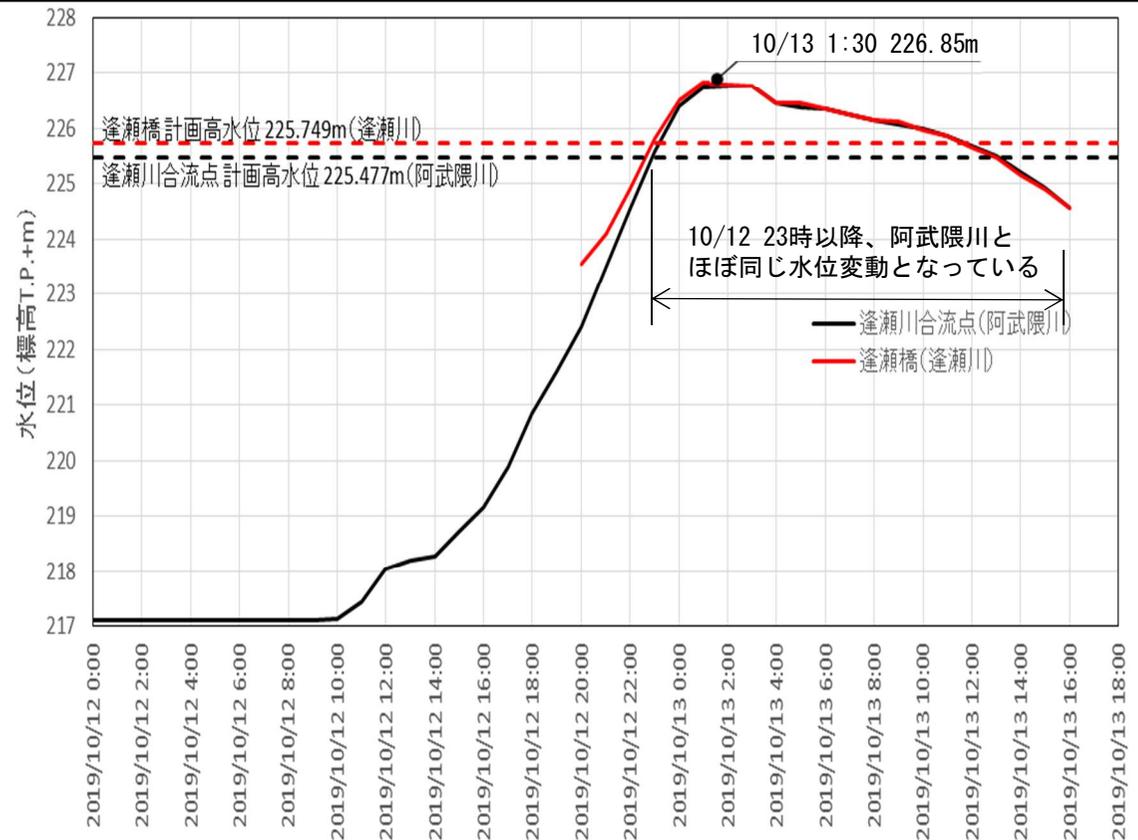
(3) 逢瀬川と阿武隈川の水位の関係

- 逢瀬川と阿武隈川合流点の水位（標高値）を比較すると、阿武隈川が計画高水位を超過した10/12 23時以降、逢瀬川とほぼ同じ水位変動となっており、逢瀬川と阿武隈川の水位が連動している状況であった。
- このことから、阿武隈川のバックウォーターの影響が咲田橋上流付近まで生じ、逢瀬川の水位が上昇したことが明らかである。



【参照】福島県河川流域総合情報システム

逢瀬川・阿武隈川水位観測所位置図



※逢瀬川合流点の水位は、逢瀬川のHWL計算水位から推定

阿武隈川と逢瀬川の水位関係

逢瀬川河川改修及び関連事業説明図

逢瀬川（下流）全体計画 L=1,270m



- 未着手
- 着手中・着手予定(河川)
- 着手中・着手予定(道路)

工種	令和元年												令和2年												令和3年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
①築堤護岸工事(左岸)	■																										
②築堤護岸工事(右岸)	■																										
③荒井郡山線道路工事	■																										
④荒井郡山線道路工事	■																										
⑤築堤護岸工事(逢瀬橋～大窪橋)	■																										
⑥築堤護岸工事(左岸)	■																										
⑦築堤護岸工事(右岸)	■																										
⑧旧橋撤去工事	■																										
⑨築堤護岸工事(咲田橋～東部幹線)	■																										
⑩築堤護岸工事(左岸)	■																										
⑪築堤護岸工事(右岸)	■																										
⑫仮橋工事(咲田橋)	■																										

 交通規制区間(通行止) 令和3年3月31日まで(予定)

(市道梅田伊賀河原線、市道乙高大久保1号線、市道乙高1号線、市道乙高3号線、市道大町二桜木一丁目1号線、市道若葉町5号線、市道若葉町4号線)

逢瀬川堤防嵩上げ工事の計画前倒しによる早期完成要望書

(要望の趣旨) 私たちは、平成28年6月22日付け貴職あてに、福島県一級河川逢瀬川堤防建設・内水対策期成会の発足をお知らせし、逢瀬橋から幕ノ内橋までの間の早期堤防改修(築堤)工事促進及び進捗状況説明の要請を行い、早期に命を守る災害予防策を講じられるよう、周辺6町内会がまとまり要望してまいりました。

10月12日から13日にかけての台風19号により工事進行区間および計画区間から越水・氾濫し、嵩上げ工事未完成である私たち6町内会の住宅および330世帯が床上浸水の甚大な被害を蒙り、不自由な生活を強いられています。

地球温暖化が進行し大雨の発生数が増加しており、来年も今年同様、台風による災害が起こるのではないかと恐れがあります。

以上のことから、逢瀬川堤防工事未終了区間及び未着工区間の1.27kmの計画前倒しによる早期完成を強く要望します。

次の事項について要望し、回答を求めます。

記

1 逢瀬川堤防嵩上げ工事予定区間1.27kmの計画前倒しによる早期完成
(堤防工事計画により20数年前に用地買収を行っているにも関わらず、まだ着工すらされていない区間がある。昭和61年、平成10年に越水があった。)

2 新咲田橋の架け替え工事も嵩上げ工事と同時に着工する
(堤防の嵩上げをしたとしても、咲田橋が現在のままではそこから越水することが明らかである。)

3 逢瀬川、阿武隈川の河道掘削を、嵩上げ工事と同時に進め、定期的に実施する
(土砂が堆積すると、川水の保水容量が減少する。平成27年9月県議会で、このことについて、「早急に土砂の撤去をし、適正な河川管理に取り組み」しているが、定期的に実施されていない。)

4 咲田橋から幕ノ内橋までの右岸に堆積したゴミの撤去
(咲田橋の橋台、橋脚、桁、支承に引つかかっているゴミ等を含む。)

以上

令和元年12月5日

福島県一級河川逢瀬川堤防建設・内水対策期成会

代表者 伊藤 利彦

連絡先 郡山市富久山町久保田字乙高76-4

電話 024-932-6297